



どうまで身にこたえてくるか確かめよう！

次のそれぞれの問いに答えなさい。

1 〈漢字の成り立ち〉

□(1) 次のそれぞれの漢字の成り立ちを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|----|---|---|---|----|---|---|---|
| □① | 間 | 〔 | 〕 | □② | 上 | 〔 | 〕 |
| □③ | 日 | 〔 | 〕 | □④ | 本 | 〔 | 〕 |
| □⑤ | 魚 | 〔 | 〕 | □⑥ | 清 | 〔 | 〕 |
| □⑦ | 岩 | 〔 | 〕 | □⑧ | 飯 | 〔 | 〕 |

ア 象形文字(物の形や様子などをえがいた絵文字を略したもの。)

〔例Ⅱ火〕

イ 指事文字(形で表せないものを記号のように表したものを。〔例Ⅱ一〕)

ウ 会意文字(二つ以上の文字を組み合わせて新しい意味を表したものを。)

〔例Ⅱ男〕

エ 形声文字(音を表す部分と意味を表す部分とを合わせてできたものを。)

〔例Ⅱ板〕

2 〈熟語の読み方〉

□(1) 次のそれぞれの熟語の読み方は、あとのどれに分類されますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | |
|----|----|---|---|----|----|---|---|
| □① | 店頭 | 〔 | 〕 | □② | 茶色 | 〔 | 〕 |
| □③ | 仕事 | 〔 | 〕 | □④ | 思想 | 〔 | 〕 |
| □⑤ | 荷物 | 〔 | 〕 | □⑥ | 昔話 | 〔 | 〕 |

- | | | | | | | | |
|----|----|---|---|----|----|---|---|
| □⑦ | 金属 | 〔 | 〕 | □⑧ | 相性 | 〔 | 〕 |
| □⑨ | 朝日 | 〔 | 〕 | □⑩ | 客間 | 〔 | 〕 |

ア 上の字も下の字も音読み

イ 上の字も下の字も訓読み

ウ 上の字は音読み、下の字は訓読み(重箱読み)

エ 上の字は訓読み、下の字は音読み(湯桶読み)

□(2) 次のそれぞれの読み方をする熟語を、あとからすべて選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|----|------|---|---|
| □① | 重箱読み | 〔 | 〕 |
| □② | 湯桶読み | 〔 | 〕 |

ア 花火

イ 味方

ウ 手本

エ 絵画

オ 牛肉

カ 青空

3 〈熟語の組み立て〉

□(1) 次のそれぞれの熟語の組み立てとして適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号を何度でも選べます)

- | | | | | | | | |
|----|----|---|---|----|----|---|---|
| □① | 賛否 | 〔 | 〕 | □② | 急用 | 〔 | 〕 |
| □③ | 町営 | 〔 | 〕 | □④ | 解約 | 〔 | 〕 |
| □⑤ | 私有 | 〔 | 〕 | □⑥ | 思考 | 〔 | 〕 |
| □⑦ | 話題 | 〔 | 〕 | □⑧ | 豊富 | 〔 | 〕 |

□(3) 次の故事成語の意味として最も適切なものを、それぞれのあとから選び、記号で答えなさい。

□① 杞憂きゆう

- ア いつまでもくよくよすること。
- イ 取り越し苦勞こらうをすること。
- ウ とても用心深いこと。
- エ 悲しくて落ちこむこと。

〔 〕

□② 牛耳うしみみを執とる

- ア 仲間の頭かみになること。
- イ 損な役回りになること。
- ウ 厳きびしく処罰しよばつすること。
- エ すかさず行動すること。

〔 〕

□③ 蛇足だそく

- ア 本物そっくりのにせ物。
- イ めずらしくて貴重な物。
- ウ むだな行いや、よけいな物。
- エ 大がかりなしかげや、立派な物。

〔 〕

□④ 背水の陣せいすいのじん

- ア 準備万端ばんたんで本番に臨のぞむこと。
- イ 決死かくじの覚悟かくごで物事にあたること。
- ウ 用心を重ねて慎重しんちょうに進めること。
- エ 用意が不十分なまま取り組むこと。

〔 〕

□⑤ 登竜門とうりゅうもん

- ア とても苦手とすることがら。
- イ 物事の、大切な最後の仕上げ。
- ウ 引け目を感じることがあり、訪問しにくい家。
- エ 出世や成功を収めるための難しい関門。

〔 〕

□⑥ 螢雪けいせつの功

- ア 思いがけない幸運にめぐりあうこと。
- イ わずかなことでも、重なり集まると大きなものになること。
- ウ 他人の取るに足らない言動でも自分の役に立つこと。
- エ 苦勞しながら学問にはげみ成功すること。

〔 〕

□(4) 次のそれぞれの語句の□に、漢数字を一字入れ、下の意味を持つことわざ・慣用句・故事成語を完成させなさい。

□① 悪事□里を走る↓悪い行いや評判はすぐに知れわたること。

〔 〕

□② 五十歩□歩↓似たり寄ったりということ。

〔 〕

□③ □方ふさがり↓すべてが具合悪くなってしまうこと。

〔 〕

□④ □の句がつけない↓驚おどろいたりあきれたりして次の言葉が出ない。

〔 〕

□⑤ □人寄れば文殊もんじゆの知恵ちえ↓話し合えば良い考えがうかぶこと。

〔 〕

5 (漢字総合)

□(1) 次のそれぞれの漢字の部首名を、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□1 登	〔 〕	□2 点	〔 〕
□3 運	〔 〕	□4 慣	〔 〕
□5 教	〔 〕	□6 国	〔 〕
□7 建	〔 〕	□8 社	〔 〕
□9 歌	〔 〕	□10 度	〔 〕

ア くるま	イ しんによ(う(しんにゆう))
ウ あくび	エ れんが(れつか)
オ のぶん	カ りっしんべん
キ くがまえ	ク えんによう
ケ まめ	コ はつがしら
サ しめすへん	シ がかんむり
ス まだれ	セ がかんだれ

□(2) 「間」という漢字と部首が異なるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 関	イ 聞
ウ 閣	エ 開

□(3) 次のそれぞれの漢字の総画数を、漢数字で答えなさい。

□1 印	〔 〕	□2 危	〔 〕
□3 近	〔 〕	□4 収	〔 〕
□5 医	〔 〕	□6 存	〔 〕

□7 部	〔 〕	□8 庭	〔 〕
□9 世	〔 〕	□10 書	〔 〕

□(4) 次のそれぞれの漢字と総画数が同じものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

□1 出	〔 〕	□2 考	〔 〕
□3 臣	〔 〕	□3 臣	〔 〕
ア 承	イ 号		
ウ 吸	エ 系		
オ 片	カ 姿		

□(5) 次のそれぞれの——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

□1 高いビルをケンセツする。	〔 〕
□2 心身のケンコウを保つ。	〔 〕
□3 授業の内容をフクシユウする。	〔 〕
□4 フクザツな問題を解く。	〔 〕

□(6) 次のそれぞれの——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

□1 花見の時期にはまだハヤイ。	〔 〕
□2 私の兄は走るのがハヤイ。	〔 〕
□3 朝の七時に目がサメる。	〔 〕
□4 スープがすっかりサメる。	〔 〕

2 小説 (1)

確認問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈長野まゆみ「夏帽子」より〉

(注) もやい杭 船をつなぐために水中や岸に立てた柱。

ハッチ・アウト 孵化。

キャラコ 目の細かい光沢のある綿布。

- (1) — 線①「少年はしきりに翌日の天候を気にしていた」とありますが、その理由を、「翌日の天候が悪ければ、〜から。」という形で、書いて答えなさい。

翌日の天候が悪ければ、

から。

- (2) — 線②「春の海風は気まぐれで、風向きは安定しない」、線③「海面は白い角のような波が見えた」と同じ表現技法が用いられているものを、それぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 夜空には、お盆みたいに丸い月がかかっていた。(直喩)
- イ 演奏が終わり、会場内は拍手のあらしとなった。(隠喩)
- ウ 朝になって、東の空に太陽が顔を出し始めた。(擬人法)
- エ 東の空には日がのぼり、西の空には月がしずむ。(対句)
- オ 馬の背中が光っている、午後の日ざしを受けて。(倒置法)
- カ みんなが望んでいるものは人類すべての平和。(体言止め)

A
B

- (3) — 線②「紺野先生は、飼育器の卵のようすを観察した」とありますが、この時の紺野先生の気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 無事に卵は孵化することができるだろうか、という気持ち。
- イ 自分の勤が外れるようなことはないだろう、という気持ち。
- ウ 卵が孵化する瞬間を早く見てみたい、という気持ち。
- エ 今日中には卵が孵化しないといいのだが、という気持ち。

--

- (4) — 線③「孵化の場面に立ち合うこと」とありますが、「孵化の場面」に居合わせることはできない「少年」のために、紺野先生がしてあげた行動が書かれている部分を、ここより後の本文中から二つ、それぞれ十字以上十五字以内で書きぬいて答えなさい。

--	--

- (5) — 線④「『そのようだね。声を聞いたかい。』『ええ、もちろん。』」とありますが、「少年」が「声を聞いた」のは、時間的には、本文中のどの文の後の出来事ですか。その一文の最後の七字(句点も字数に数えます)を書きぬいて答えなさい。

--

- (6) — 線⑤「その場にいた生徒たちがうらやんだ」とありますが、生徒たちが「少年」をうらやんだ理由を、「少年だけが、〜から。」という形で、書いて答えなさい。

少年だけが、	から。
--------	-----

●
練成問題

- ① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



〔南木佳士「ダイヤモンドダスト」より〕

(注) 租界は中国にあった、行政権が外国にあった外国人の居留地。

□(1) — 線①「そんな静かな家の床下にとつともなく深いあながひそんでいたこと」という表現は、どういうことをたとえていますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 一見平和そうに見える日常生活の裏側には、いやなことがたくさんあるということ。

イ 日常生活のおだやかさは、思いがけない出来事によって、あつげなく破られるということ。

ウ 単調な日常生活は、人の気分を落ちこませ、家庭内のふん囲気を暗くするということ。

エ 活気がない日常生活には、悲しいことやつらいことがいっぱいにつまんでいるということ。

□(2) — 線②「職も失った松吉」とありますが、松吉が失った職とは、具体的に、どんな仕事だったと考えられますか。「仕事」という形で、書いて答えなさい。

仕事。

□(3) — 線③「地に手足をつけた生活を放棄していった」とありますが、それまでの町の人々の「地に手足をつけた」暮らしぶりが書かれている部分を、本文中から二十二字で探し、その最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

□(4) — 線④「学校の行き帰りにそんな男たちを見ていた和夫」とありますが、

が、「そんな男たち」に対する和夫の気持ちとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 軽べつ。 イ 同情。
ウ うらやみ。 エ にくしみ。

□(5) — 線⑤「和夫の夢」の具体的な内容を書いて答えなさい。

□(6) — 線⑥「和夫のおだやかすぎる選択をなじる者」とありますが、その者は、どういう考え方から、和夫をなじるのですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 危険な事はさけるべきだ、という考え方。
イ あまい見こみは捨てるべきだ、という考え方。
ウ 夢を追いかけて生きるべきだ、という考え方。

エ ぜいたくはつつしむべきだ、という考え方。

□(7) 本文中からは、和夫がどのような人物であることがわかりますか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 大きな望みを心の内にかくし持っている、野心に満ちた人物。
イ 自分を取り巻く現実をしっかりと見すえている、実直な人物。
ウ 何事にもねばり強く一生けんめいに取り組む、努力家の人物。
エ 周囲の人々にとけこむことができない、負けん気の強い人物。



最後に
Try!

定期テストに備えよう!

次のそれぞれの問いに答えなさい。

1 ことばの単位

□(1) 次のそれぞれの文を文節に分けた場合の分け方として最も適切なものから選び、記号で答えなさい。

□① 私の友人に、漢字にとてもくわしい人がいる。

ア 私の友人に、漢字にとてもくわしい人がいる。

イ 私の友人に、漢字にとてもくわしい人がいる。

ウ 私の友人に、漢字にとてもくわしい人がいる。

エ 私の友人に、漢字にとてもくわしい人がいる。

□② 大昔の人々の暮らしぶりを想像するのはおもしろい。

ア 大昔の人々の暮らしぶりを想像するのはおもしろい。

イ 大昔の人々の暮らしぶりを想像するのはおもしろい。

ウ 大昔の人々の暮らしぶりを想像するのはおもしろい。

エ 大昔の人々の暮らしぶりを想像するのはおもしろい。

□(2) 次のそれぞれの文を単語に分けた場合の分け方として最も適切なものから選び、記号で答えなさい。

□① 楽しみが一つ増えた。

ア 楽しみが一つ増えた。

イ 楽しみが一つ増えた。

□② 漢字を書いて覚える習慣を身につけたい。

ア 漢字を書いて覚える習慣を身につけたい。

イ 漢字を書いて覚える習慣を身につけたい。

ウ 漢字を書いて覚える習慣を身につけたい。

エ 漢字を書いて覚える習慣を身につけたい。

□(3) 次のそれぞれの文は、いくつかの文節に分けられますか。漢数字で答えなさい。

□① 昨日は学校でも家でもうれしかった。

□② こんなときは映画でも見に行つて気分を変えたい。

□③ 今でも思い出すと泣きそうになってしまふ映画がある。

□④ 今度どこかで見かけたら、また声をかけてみようと思った。

□(4) 次のそれぞれの文は、いくつかの単語に分けられますか。漢数字で答えなさい。

□① 今日の風はともさわやかだ。

□② 筆記用具を机の上に出しておく。

□③ 明日、臨時集会を開くことになった。

□④ ぼくは幼いころからバームクーヘンが大好きだ。

□(5) 次のそれぞれの単語の説明として適切なものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|----|-------|---|----|-------|---|
| □① | 日光 | 〔 | □② | 見る | 〔 |
| □③ | または | 〔 | □④ | おごそかだ | 〔 |
| □⑤ | すぐに | 〔 | □⑥ | 道路 | 〔 |
| □⑦ | 展覧会 | 〔 | □⑧ | 良い | 〔 |
| □⑨ | 行く | 〔 | □⑩ | しかし | 〔 |
| □⑪ | パン | 〔 | □⑫ | はつきり | 〔 |
| □⑬ | さわやかだ | 〔 | □⑭ | 美しい | 〔 |
- ア「が」などをもたない主語になることができる、活用しない自立語
 イ 単独で述語になることができる、活用する自立語
 ウ ア・イ以外の自立語

□(6) 次のそれぞれの文は単語に分けてありますが、その中から付属語を探し、その数を漢数字で答えなさい。

- ① 今回／の／国語／の／テスト／は、／前／より／二十点／も／得点／を／上げる／こと／が／でき／た。
- ② 今／まで／登下校中／の／高校生／を／見る／たび／に／あこがれ／を／感じ／て／い／た。
- ③ 説明書／を／よく／読め／ば、／たいてい／の／問題／の／原因／と／対処法／は／わかる／もの／だ。

2 〈文節相互の関係〉

□(1) 次のそれぞれの文の中で、□の主語に対する述語を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 兄が、ア冷蔵庫に イ入っていた ウプリン エを食べた。
- ② アぼくは イその ウ大事な エ試合に オ本当に カ勝ちたかった。
- ③ ア昼食は、 イあげさ ウ早く エ母が オ作ってくれた カお弁当だ。
- ④ アとても イきれいだ、 ウこの エ窓から オ見える カ夕日は。
- (2) 次のそれぞれの文の——線部の述語に対する主語を一文節で書き抜いて答えなさい。
- ① 欲しいものは、駅前のデパートで見た、黒い文字盤の時計だ。
- ② 私のわからない問題でも、友人は難なくすらすらと解く。
- ③ 大勢の係員がいつせいに動き、短い時間で会場の決められた位置に机といすを並べた。
- ④ 兄が扇風機もクーラーも嫌いで使おうとしないので、兄の部屋はとてもし暑い。
- ⑤ とつぜん走り去った車を追って、近くにいた犬もみんなといっしょに走った。

□(3) 次のそれぞれの文の中で、 のことばが修飾していることばを一つずつ選び、記号で答えなさい。

□① たくさんの 小さな おもちゃが ゆかに 散らばる。

□② いよいよ、 私も 晴れて 中学生に なる。

□③ おこづかいを 少しずつ ためて、 自転車を 買いたい。

□④ 日曜日に 公会堂で ピアノの 発表会が 行われる。

□(4) 次のそれぞれの文の中から、——線部のことばが直接修飾していることばを一文節で書き抜いて答えなさい。

□① そう簡単に交渉がまとまるとは思っていなかったので、あっさりまとまったと聞いておどろいた。

□② 報告書には、力強い大きな文字で、許可をあたえた理由が書かれています。

□③ 読むことは問題なくできても、書いてみると正確に書けない漢字は、実際には意外なほど多い。

□④ 静かですずしい図書館でゆっくり好きな本を読むのが、夏の日中の一番良い過ごし方だ。

□(5) 次のそれぞれの文から、「独立語」または「接続語」となっている文節を探し、書き抜いて答えなさい。

□① ああ、また昨日もテレビ番組の録画に失敗した。

□② 色々な資料を調べるのは大変だったが、勉強になった。

□③ うそつき、それが、母が最もきらいな種類の人間だ。

□④ バターは値段が高かったので代わりにマーガリンを買う。

□⑤ はい、確かに私とその皿を落として割りました。

□⑥ 疲れた体をひきずるようにして帰宅すると、そのまま寝た。

□(6) 次のそれぞれの文の——線部の文節どうしは、どのような関係にありますか。あとから選び、記号で答えなさい。

□① ひととおり 内容の 確認を 行って みた。

□② 次の 日には 天気は 好転すると よいね。

□③ 話し合いで、課題を 一つずつ 解決して いきます。

□④ あなたこそ この 三組の クラス委員に ふさわしい。

□⑤ ついに 待ち望んで いた この 日が 来た。

□⑥ 紅茶でも コーヒーでも 好きな 方を 飲みなさい。

□⑦ 外は とても 暑かったが がまんした。

□⑧ 豪華な 大きい 花束を プレゼントに 用意する。

ア 主語・述語の関係

ウ 並立の関係

オ 接続・被接続の関係

イ 修飾・被修飾の関係

エ 補助の関係

□(7) 次のそれぞれの文の——線部の文節・連文節は、文のどんな成分になっ

ていますか。あとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□① 弟は よく 学校の 宿題を 忘れる。

□② 最近、小学生だって パソコンを 使える。

□③ 必死に がんばったが、試合に 負けた。

□④ 祖母の 家は 広くて きれいだ。

□⑤ 庭には 三羽の にわとりが いる。

□⑥ 家族と 友人、それが 私の 宝物だ。

□⑦ 姉の 結婚相手は とても 親切的な 人らしい。

□⑧ 家の 前に 黒い 自動車が 一台 とまった。

ア 主部(主語)

ウ 修飾部(修飾語)

オ 独立部(独立語)

イ 述部(述語)

エ 接続部(接続語)

3 (ことばの活用)

□(1) 次のそれぞれのことばは、語形が規則的に変化します(活用します)が、それぞれの□に入る適切な部分を書いて答えなさい。

□① 安い

安かろ(う)

安かつ(た)

安く(なる)

安い(とき)

安□(ば)

□② 便利だ

便利だろ(う)

便利だつ(た)

便利で(ある)

便利に(なる)

便利□(とき)

便利なら(ば)